

# Newsletter

## FD・SD活動推進委員会

2022  
年度

### 2022年度を 振り返って...



平素よりFD・SD活動にご尽力いただきありがとうございます。年刊誌Newsletter第6号をお届けします。2022年度は、竹村一夫新学長を中心とする新体制が始動しました。コロナ禍は続くものの、対面授業が大幅に復活し、オンライン授業との並行による効果的な学習の形が模索された一年でした。皆様のご尽力の甲斐あって、本年度も授業改善アンケートで私達の授業は学生達から高く評価されました。

また、本年度は認証評価が行われ、先立って春期FD・SD研修会において教職員全員で、本学の教育についてふり返りました。実際の認証評価では、私達のFDポイント制を活用したFD・SD活動が高く評価されました。

さらに、障害者差別解消法が改正されて合理的配慮の提供が義務化される中、また、対面授業で学生と直にやりとりする機会が増える中、本学の学生一人一人にとっての多様な幸せとは何かが改めて問い直された一年でもありました。これを踏まえて、秋期のFD・SD研修会では、これからの本学で必要なマナーとコミュニケーションについて学びました。

2023年度も皆さまのFD・SDが促進され、モチベーションが高まるような活動を推進してまいりたいと思います。ご提案とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

## 2022年度の取り組み

- 4月
  - ・ 学長と“樟蔭”について語る会 (4/5)
  - ・ 草の根FD・SD活動「新たな時代を見据えた質保証システムの改善・充実について」を活用したFD・SD (4/19~5/13)
- 5月
  - ・ 草の根FD・SD活動「令和3年度卒業時アンケート・樟蔭学園についてのアンケート調査の結果を活用したFD・SD」 (5/9~5/27)
  - ・ 授業改善のための中間アンケート (5/9~5/21)
  - ・ 春期授業見学・公開 (5/9~7/29)
  - ・ 草の根FD・SD活動「manabaコース見学」 (5/30~3/31)
- 6月
  - ・ 草の根FD・SD活動「科研費にチャレンジ~あなたの不安をとりのぞきます~」 (6/2)
  - ・ 「授業改善のための中間アンケート実施状況」に関するアンケート (6/6~6/30)
  - ・ 草の根FD・SD活動「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について」を活用したFD・SD (6/9~7/2)
  - ・ 春期FDサロン~学生との接し方~ (6/30)
- 7月
  - ・ 春期SDサロン~各種申請に関する手続き~ (7/6)
  - ・ 春期授業改善のためのアンケート (7/11~8/5)
  - ・ 草の根FD・SD活動「研究倫理・コンプライアンス研修会」 (7/22~8/25)
  - ・ 春期FD・SD研修会「認証評価受審に向けて~自己点検評価書にみる本学の現状と課題」 (7/28)
- 9月
  - ・ 草の根FD・SD活動「朝日新聞 時事ワークシート」を活用しよう! (9/8)
  - ・ 草の根FD・SD活動「2022年度新入生対象国語力強化課題実施報告書を活用したFD・SD」 (9/12~9/30)
  - ・ 人権研修会 (9/22)、秋期授業見学・公開 (9/26~1/28)
- 10月
  - ・ 授業改善のための中間アンケート (10/31~11/12)
- 11月
  - ・ 秋期FDサロン~アセスメントテストの活かし方~ (11/24)
  - ・ 草の根FD・SD活動「アセスメントテストを活用したFD・SD (3年生PROGテスト)」 (11/24~12/16)
  - ・ 「授業改善のための中間アンケート実施状況」に関するアンケート (11/28~12/24)
- 12月
  - ・ 草の根FD・SD活動「アセスメントテストを活用したFD・SD (1年生GPS-Academicテスト)」 (12/22~1/19)
- 1月
  - ・ 秋期授業改善のためのアンケート (1/10~2/4)
- 2月
  - ・ 秋期FD・SD研修会「大学でトラブらないためのマナーとコミュニケーション」 (2/24)
- 3月
  - ・ 秋期SDサロン~樟蔭の袴とスクールカラーを通した帰属意識の醸成~ (3/3)
  - ・ 草の根FD・SD活動「大学で行うべき教育を考える~日本語教育課程における取り組み~」 (3/16)

# 研修会の実施報告

## ●学長と“樟蔭”について語る会(4/5開催)



「学長と“樟蔭”について語る会」は、例年新しくご着任いただいた先生方に本学の沿革や最近の現状などについて理解を深めていただくために開催されます。今年度は7名の新たな先生をお迎えし、竹村学長から、本学の歴史や創立の背景などを、映像や資料を元にご説明頂くと共に、日頃の学生の様子や教育活動の具体的な姿や評価の方法、FD・SD活動の目的について、お話を聞いて頂きました。フリーディスカッションも和気藹々とした雰囲気の中で行われ、その後の「樟蔭ツアー」では図書館や絵本館、生協などを回り、新任の先生方が楽しく快適に教員生活を送れるようご説明をさせていただきます。

開催日：2022年4月5日(火) 10:30-12:00  
参加者：13名(新任教員：7名、専任教職員：9名)  
場所：清志館4階 G406教室

## ●春期FD・SD研修会(7/28開催)

開催日：2022年7月28日(木) 16:00-17:30  
参加者：92名(専任教員：72名、助手20名)  
場所：G501教室



「認証評価受審に向けて～自己点検評価書にみる本学の現状と課題」というテーマで、点検・評価担当副学長白川哲郎先生にお話を頂きました。大学について、まだまだ知らないことがたくさんあると気づかされる研修会でした。自身の不勉強を反省しつつも、大学というものに対する興味をより一層深くかき立てられました。本研修会を通して、認証評価とは大学のシステム・仕組みの点検作業であると理解しました。

近い将来の予測も難しい現代において、課題に対する対策は、成功か失敗かではなく、成功か改善かとよく言われます。自己点検・認証評価のような、組織の改善を促す営みは、今後も重要性を増していくでしょう。研修会の中では、本学の課題についてのご指摘もいただきました。今回、浮き彫りになった本学の課題を教職協働で継続的に改善を続けることが望まれます。

認証評価に、主に関わられた教職員の皆様におかれましては、大変な作業であったと存じます。この場をお借りしましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

## ●秋期FD・SD研修会(2/24開催)



秋期のFD・SD研修会は「大学でトラブらないためのマナーとコミュニケーション」というテーマで、お二人の先生に二部制で開催いただきました。まず、最初に株式会社キャリア総研の緒方幹代先生に、教職員にも求められるCS意識、学生に身に付けてほしい最低限のマナー・仕事の基本、教職員の対応の重要性等についてお話しいただきました。学生とは相互尊重することが大切であること、学生にとって身近な社会人である教職員全員が見本となるのが大切という先生のお言葉が胸に沁みました。

後半は、本学心理学科の長谷川章子先生に、コミュニケーションが難しい若者への支援方法についてご紹介いただきました。その後、先生が作成されましたゲーム「LifeConnection」を体験させていただきました。このゲーム内では、いろいろな人生を疑似体験でき、ハプニングが起きたときでも、繋がれる場所、社会的資源が複数あることを楽しく学べます。また、ゲームを行うことで、初対面の方々とも仲良くなれますので、本学の学生にもぜひ体験してもらいたいと思います。

開催日：2023年2月24日(木) 17:00-18:30  
参加者：64名(専任教員：63名)  
場所：G501教室

## ●草の根FD活動: 科研費にチャレンジ ～あなたの不安をとりのぞきます～(6/2開催)

科研費に申請されたことのない方や、申請書の作成でつまずきを感じておられる方の不安を取り除くことで、科研費申請への第一歩を踏み出す後押しとなることを目的としてワークショップを開催しました。

参加者間で研究紹介をしあうアイスブレイクに続いて、松下戦員先生、黒川麻実先生、津川尚子先生、今田昇一先生によるミニトークでは、ここでしか聞けないような貴重な情報を共有していただきました。グループワークでは、それぞれの悩みを話し合う中で、参加者間で、問題解決に向けた熱いディスカッションが展開されました。事後アンケートでは、また企画してほしいとのご要望の声が多くありました。企画者も参加者も楽しみながら、研究へのモチベーションを高める機会の一つとなったのではないかと思います。

開催日：2022年6月2日(木) 16:00～  
参加者：26名(専任教員) 場所：M101教室



### 第1回「各種申請に関する手続き」

今年度も、主に新任の先生方を対象に、「各種申請に関する手続き」について、IR・教育調査課の明石真由美様にご説明いただきました。2019年に本学でCampusmateを導入した途端にやってきたコロナ禍。学会も研修会もほとんどがオンラインになってしまい、出張する機会がほとんどなくなってしまいました。そのため、せっかくのシステムも使わないまま、月日が経っていきました。2022年に入り、少しずつではありますが、出張の機会も増えてまいりましたので、復習という意味で、新任以外の先生方にもご参加いただけたことはとても有意義であったと思います。ほとんど使用することがなかったCampusmateでの処理方法を再度お聞きすることができ、また、その他の申請方法についてもご説明いただき、不安が消えた先生も多かったのではないのでしょうか。今後、対面で外部の方々ともコミュニケーションをとり、Campusmateをどんどん使用できる日を待ち望んでおります。

開催日: 2022年7月6日(水) 12:15-13:00  
参加者: 12名(専任教員) 開催: オンライン(Teams)

### 第2回「樟蔭の袴とスクールカラーを通じた帰属意識の醸成」

卒業式シーズンにちなんで、化粧ファッション学科の水野夏子先生に「樟蔭」と深緑の袴の縁についてお話をいただきました。本学では、学生達が卒業式に深緑の袴で出席するのが伝統となっています。久しぶりの対面開催のSDサロンで、大正時代の「樟蔭の袴」の実物を見せていただくことができました！深緑の袴に白線が付いており、黒い着物に美しい菊水の模様が入っています。袴の歴史とともに樟蔭が設立当初「東洋一の女学校」と呼ばれていた最先端の学校だったことが分かりました。教職員が、今の「樟蔭」への愛着の形を見つけていく貴重な時間になりました。

開催日: 2022年3月3日(金) 11:00-12:00  
参加者: 15名(専任教員) 場所: G404教室



## ●FDサロン(春期:6/30・秋期:11/24開催)

### 第1回「学生への接し方」

近年、コロナ禍も相まり、学生の抱える問題や悩みも多様化し、我々教員の接し方もこれまでと同じようにというわけにはいなくなってきました。そこで本サロンでは、まずアイスブレイクとして、初対面の人とコミュニケーションを楽しくとれるような思考ゲーム「Ito」を、委員の黒川先生からご紹介いただき、実際に行いました。そして学生部長である安部先生から、学生が困った時や学生との接し方に悩んだ時にどうすればよいのか、支援の在り方をご紹介いただきました。その後、先生同士で現在抱えている悩みや学生の現状について、フリーディスカッションを行い、これからの学生との接し方について考えを深めることができました。

春期<2022年6月30日(木) 16:30から/参加者: 25名/場所: G501教室>



### 第2回「アセスメントテストの活かし方」

3年生のPROG教員向け結果報告会の後に、「アセスメントテストの活かし方」をテーマに開催しました。テストの結果から何を読み取ったらよいのか、結果をどのように教育改善につなげていったらいいのか、そもそもアセスメントテストは測りたいものを測定できているのか?…といった内容を竹村学長も交えて話し合いました。参加者からは「PROGテストを返却された学生が自身の力についてどのように理解しているかを尋ねてみる必要があると思った。」や「これまで数年間にわたって結果を聞いてきて、おおよその傾向が把握できてきたように思います。それをどうFDに活かすか、考えないと思っています。」などのご意見をちょうだいしました。これまで実施されたアセスメントテストを振り返る良い機会となりました。

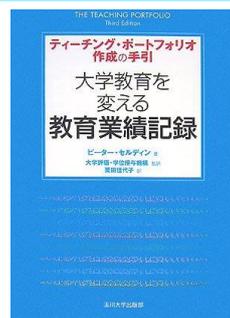
秋期<2022年11月24日(木) 17:30から/参加者: 16名/場所: G503教室>

## FD・SD関連書の紹介

昨今、やることなすことにエビデンスが求められるようになりました。大学教員が行う教育活動も例外ではありません。教育活動にもエビデンスを！と言うと多くの先生にお叱りを受けそうなものですが、外から見えにくい大学での教育活動にスポットライトを当て、可視化を目指すのは教育の質保証にも繋がるでしょう。今回紹介する本は教育活動の可視化に大いに役に立つティーチング・ポートフォリオの作成方法や活用例、実例を説いたものです。ティーチング・ポートフォリオとはなにか。第一章にこのように説明されています。

『建築家、写真家、芸術家らはみな、自らがこれまでに生み出した作品の中で最も優れたものをまとめた作品集(ポートフォリオ)を持っている。教育でも同じことができるであろう。教育の作品集(ティーチング・ポートフォリオ)を作ることにより、大学教員は自信の教育の成果を記録として提示することができる。』

我々の作品集に、学生の授業評価以外に何を入れれば良いのか、そしてその作品集をどのように活用すれば良いのか、たくさんのヒントが得られるでしょう。ぜひご覧下さい。



ピーター・セルティン 著  
栗田 佳代子 訳

『ティーチング・ポートフォリオ  
作成の手引 大学教育を変える教  
育業績記録』

玉川大学出版部 2007年

## 217名

### FD・SD研修会への参加者数（延べ人数）

●今年度の春期・秋期の研修会には、例年より多くの参加がありました。特に春期のFD・SD研修会は職員の参加も多く、教職協働を実感させる研修会となりました。積極的なご参加ありがとうございました。

## 98% / 99%

### FD・SD研修会満足度（春期／秋期）

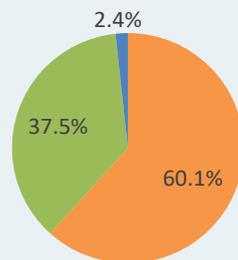
●今年度も春期・秋期で開催した研修会は、参加者が多かったばかりでなく、大変ご好評をいただきました。研修会のアンケートでいただいた先生方からのご意見を参考に、本学のFD・SD活動を活性化し、皆さまにさらに満足いただけるような研修会を開催していきます！

## 97.6% / 97.0%

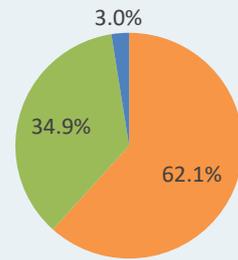
### 授業改善のためのアンケート 満足度（春期/秋期）

●授業に対する満足度に関する設問に100%に近い学生が「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」と回答しました。他も、学生の授業外学習時間に関する自己評価以外の、授業に関する設問において高評価が得られました。

### 授業に対する満足度（設問8）



2022春（回答者数：のべ5,884名）



2022秋（回答者数：のべ4,135名）

■ 当てはまる ■ どちらかといえば当てはまる  
■ どちらかといえば当てはまらない ■ 当てはまらない

## 71.4%

### FDポイント基準以上取得者数（全体98名中70名）

●FD活動への自主的、積極的な参加を促進することを目的として、専任は単年度に7ポイント以上を目安に、新任専任教員は9ポイント以上を取得することを基準としております。今年度基準以上のポイントを取得された方は前年度の70.7%から増加しました。

## 5名

### FDポイント累計100ポイント取得者数

●FDポイントを、単年度で20ポイント以上取得された方、および累計で100ポイント取得された方は、年度初回の教授会にて学長から特別に顕彰されます。今年度は20ポイント以上取得が6名、累計100ポイント取得が5名おられ、計11名の先生方が顕彰されることになりました。快挙です！

●より多くの教職員がFD・SD活動に積極的に参加できるよう、FD・SD活動に関する情報や考えを共有できるツールとして「FD・SDメーリングリスト」を活用しております。

《FD・SD活動推進委員会へのご意見・ご連絡》  
[fd-sd@osaka-shoin.ac.jp](mailto:fd-sd@osaka-shoin.ac.jp) へ送信してください

●「FD・SD活動推進委員会で取り上げてほしい」等、サロンや研修会等のリクエストがありましたら、是非ご連絡ください。皆さまの積極的なFD・SD活動への参加を期待しております！

## 11件

### 草の根FD・SD活動件数

●草の根FD・SD活動件数は前年度の9件より増加しました。次年度も本委員会では様々な取り組みを企画してまいります！皆さまからの提案や、皆さまが日々行なっているFD・SD活動の申し出もお待ちしております。